

総務常任委員会報告書

令和元年 8月26日

委員長 清原 哲史

総務常任委員会に閉会中の調査事項として付託を受けた事項について、調査の概要を報告します。調査に際し、8月7日に総務部長及び関係各課に出席を求め、委員会を開催いたしました。

【経営企画課】

＜報告事項＞ 公式ホームページ、バナー等広告、市民からの相談、無料法律相談、西鉄バス古賀市内線運行実績、70歳おでかけバス事業実績、地域移動サポート補助事業実績、コガバス運行実績、古賀市地域公共交通網形成計画の策定、第2期古賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定、第5次古賀市総合計画の策定経過について。

＜質疑及び回答＞ ①市民からの相談に関してどの程度回答しているかについては、処理カードを付けて担当課に上がってくる仕組みになっており、回答漏れはない。②広報紙リニューアルに対する市民の評価は、高評価をいただくことも多い。③70歳おでかけバスの複数年度での更新は、年度ごとに西鉄バスの運行を継続するか否かの協議を行うため、現時点では難しい。④コガバスの利用者増の要因は、バス停の増設及び周知がいきわたったため。さらに、関係行政区長や病院等にもお願いし周知を図っている。定員オーバーについては、現在乗れなかったということはない。需給の関係で総合的に判断していく。⑤コガバスの通勤・通学時間帯の運行計画は、検討の材料に入れているが、運転手の労働時間や、コストの面もありニーズとリソースの関係で判断していく。⑥コガバス1便当たりの乗客数1.77人の評価は、増えているとはいえ、多いとは考えていない。もう少し増やしていく必要がある。⑦地域公共交通網形成計画を策定後、再編実施計画に取り組むかは未定だが、取り組むとすれば令和3年度になる予定。⑧地域公共交通網形成計画とまち・ひと・しごと創生総合戦略は、第5次総合計画の前に策定することとなり、第5次総合計画の中にその考え方を盛り込んでいく。

また、地域公共交通網形成計画策定業務並びにまち・ひと・しごと創生総合戦略の業務委託の仕様書について資料要求を行い、提出を受けた。

【人事課】

＜報告事項＞ 職員採用試験、指定管理者の選定、職員の勧奨退職、EAPの利用状況、会計年度任用職員制度の概要について。

＜質疑及び回答＞ ①自治体間の人事交流状況は、九州地方整備局、九州経済産業局、福岡県、自治振興組合と実施している。近隣自治体との人事交流は行っていない。②職員採用試験を2回に分けて実施する効果としては、採用試験を早めたことで、一定の効果はあった。③幅広い人材確保のため、一般公務員試験だけでなく、別の試験方法も採用することについては、SPIなどいろいろなものがあるが、例年通り教養試験でとの考え。④障がい者の採用枠が今年はないのは、雇用率を満たしていると判断していたためだが、臨時職員等を含めなければならないということにより、0.1人不足という結果になり、早々に任期付職員や新

たな職員採用の中で確保していく。⑤古賀市健康文化施設クロスパルこが、介護予防支援センターりんの指定管理者選定は、候補を選定し、12月議会で議案として提案予定。⑥勸奨退職の狙いは、40代後半が多くなっている職員の年齢構成ピラミッドを、数年かけて勸奨退職を行い年齢層を均等化させたい。職員内部のコンセンサスについては、組合とも協議し実施することで決定した。⑦EAPを導入した背景は、職員の病気休暇、休職などが増えたこと。また、職場外での問題でも、働くことへの影響がある。総合的な対策としてEAPを導入した。法的根拠はない。

【コミュニティ推進課】

<報告事項> 花いっぱい運動補助、防犯灯設置補助、まちづくり出前講座の各平成30年度実績、文書各戸配布、自治会・校区コミュニティアンケート、つながりひろば活動状況、男女共同参画に係る各種セミナーの実施予定と実施済み分の実績、女性による元気な地域づくり応援講座事業、理工分野に興味がある女子生徒等の進路選択を応援する事業、花鶴校区コミュニティの解散について。

<質疑及び回答> ①文書各戸配布の完了報告書は、指定の期日終了後に集計報告がきている。契約書上の配布期間は19日ごろから28日までとなっている。高齢者への対応は、緊急を要するものについては随時報告がある。②自治会加入については、転入の際、防犯面や地域のつながりの大切さなどを記載したチラシを配布し、自治会加入勸奨を行っている。また広報においても特集記事を掲載。③職員が校区コミュニティの担い手としてかかわることについては、人材育成の基本的指針の中で地域に入ることを厭わないとしており、積極的に地域に入っていると考えている。④地縁団体の認可は、17団体。⑤女性による元気な地域づくり応援講座について、定員20名に限定せず門戸を広げることにに関しては、塾生としては20名の募集で全8回開催、11月と12月は公開講座で一般の方も参加できる。⑥行政区長制度と校区コミュニティを両立させることに無理があるとの意見には、花鶴校区コミュニティの解散は大変ショックで責任も感じている。組織づくりや担い手育成など、地域の声を聴きながら、どういう支援が必要か対応策を考えたい。

また、地縁団体について資料要求を行い、後日提出を受けた。

【財政課】

<報告事項> 公衆無線LANの利用状況、平成30年度地方財政状況調査、平成31年度公募型補助金の審査について。

<質疑及び回答> 中長期財政見通しについては現在作業中で、宮地岳線跡地の10億円は入っているが、起債や補助金、単費がどのくらいなのかは現在詰めている。公表は10月ごろになる。

【総務課】

<報告事項> 参議院議員通常選挙速報、市長選挙総括、文化の日記念式典、全国瞬時警報システムの全国一斉情報伝達試験、福岡県女性消防操法大会、大規模盛土造成地の所在調査結果、情報公開制度運用状況、個人情報保護制度運用状況、消防団の定員、任免、服務等に関する条例の一部改正及び鹿部、日吉コミュニティ消防センターに係る工事の追加の補正予算を9月議会へ提案予定であること。

<質疑及び回答> ①選挙総括については、古賀市独自の取組を行っているため、3年前の参議院議員選挙から実施している。②市議会議員選挙の期日前投票は、9,767人で全投票者の約44%、サンリブでの投票は4,561人で全投票者の約20%。③市議会議員選挙の公営掲示板に整理番号がなかったことについては、ホームページを含めわかりやすくしていく。④18・19歳の投票率の落ち込み及び古賀市内の高校等への啓蒙の必要性については、10代からの主権者教育の重要性は認識しており、積極的に進めていく。⑤2時間繰り上げによる削減効果42万7,189円は、2時間短縮しなかった場合との比較によるもの。⑥大規模盛土造成地マップの中に、美明地区の旧鹿部大池が該当していないのは、県の調査で該当しなかったため。マップの中に危険な箇所ではないと記載されているが、危ないのではとの問い合わせがあった場合は、丁寧に説明していく。

【管財課】

<報告事項> 入札状況報告、公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画策定について。

<質疑及び回答> ①小中学校の印刷機22台の契約額1円について、利益は消耗品の受注で得られるため、利益を無視したダンピング受注ではないことを確認している。②個別施設計画は、個別施設のメンテナンスや廃止など今後の方針について具体的に検討した各部会の考え等を総合的に判断し、令和2年度の完成をめざす。総合管理計画における、40年間で2割削減の目標があるが、直近の約10年間は精度を高めたものとしたい。

以上、閉会中所管事務調査の概要報告を終わります。